

平成29年度 公益財団法人大分県体育協会定時評議員会

日 時：平成29年5月26日（金）10：30～

会 場：大分県医師会館6階「研修室1」

出席者 (42名)	堤 聖一	熊谷 和雄	五十川浩司	池田 進一	結城 順史
	中村 哲明	西 明宏	山口 次男	加藤 裕三	山崎 隆明
	福田 茂	大野 成臣	栗林 久	谷上 和年	田中 功一
	河津 龍治	吉野 真治	三宅 文子	佐藤 士文	梶原 増美
	丸山野康弘	佐藤 重徳	渡辺真由美	後藤 佑	久保田 勲
	羽田野浩二	嘉名 竜馬	小出美沙都	秋吉 勝彦	藤井 治
	藤原 直也	石堂 克己	後藤 和司	安藤 隆治	河野 利雄
	井上 涼治	小野 哲也	衛藤 欣哉	河野 英樹	臼木 寛章
	安部 新悟	佐藤 直樹			

欠席者 (23名)	岡松 眞明	坪井 公治	奥村 正二	衛藤 敬	富松 秋實
	米津 康広	梶川 清明	波津久郁生	利光 正	大石 祥一
	秋吉 春夫	児玉源太郎	山田 昌信	麻生 純二	高山英一郎
	別所健太郎	後藤 幸正	曾我 圭司	穴井洋一郎	齋藤 隆生
	福田 雅樹	大海 明治	後藤 栄二		

資格確認

伊藤総務部長が出席者42名で、本会定款第22条に従い、定数の過半数の出席者であるため本会が成立することを報告した。

1 開会のことば

伊藤総務部長が開会のことばを述べた。

2 あいさつ（井上倫明 専務理事）

皆さん、おはようございます。専務理事の井上でございます。本来ならば、本日は広瀬会長がごあいさつを述べるところではございますが、他の公務のため出席が叶いませんので代わってあいさつを申し上げます。皆様方におかれましては、何かとご多用のなかご出席いただきありがとうございます。また、平素から本会の事業の推進にご協力を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

さて、平成29年度がスタートして2ヶ月が過ぎようとしています。本会では29年度の重点的な取り組み、第72回の国民体育大会に向けた競技力の向上対策、それから財政基盤の確立と財務体制の強化、この二つを挙げて、その他のスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等も含めまして、日々事業を推進しているところでございます。

なかでも、競技力向上対策につきましては本年のえひめ国体での20位台上位の達成に向けて、先週17日から各競技団体、各競技種別にヒアリングを実施させていただきました。今後の強化について協議をさせていただいたところでございます。殊更、国体の成績につきましては、とにかくチーム大分の成績を上げなければならないという話題がございますが、競技団体の皆様が日々頑張っておられることは重々承知でございます。ただ、この国体に関しては、やっている課程を評価されるのではなく、どうしても結果を求められます。そのためにも各競技団体、チーム大分の気持ちをひとつにして日々国体に向かっていくことが最重要でございます。そういったところをご理解いただきまして、これからもお力添えをいただきますよう、何卒、お願い申し上げます。よろしく申し上げます。

結びに、本日の評議員会でございますが、昨年度の事業報告、それから決算、これは先日行われました理事会にもかけて、そこを通過してまだ案は取れていない状況でございます。本日の評議員会で皆様方にご承認をお願いしたいと思っております。それだけ公益法人の運営というのは評議員の皆様方にかかっていると言っても過言ではございません。限られた時間ではございますが十分にご審議をいただき、忌憚りの無いご意見をいただきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

3 議長選出

本会規則第3条「評議員会の議長は、その評議員会において出席した評議員の中から互選する」に従い、伊藤総務部長が議場へ諮ったところ、事務局に一任するとの声が挙がった。そのため事務局案を佐保事務局長が下記のとおり提案し、全会一致で承認された。

大分県なぎなた連盟 事務局長 渡辺 真由美 氏

○評議員会議事録の署名については、本会定款第23条第2項に「議長は議事録に記名押印する」と明記されている旨を伝えた。

(渡辺議長よりあいさつをいただいた。以降は渡辺議長による進行)

4 報告事項

- (1) 評議員の変更について
- (2) 平成29・30年度代表理事・執行理事について
- (3) 平成29・30年度各専門委員会委員について

佐保事務局長が上記の事項について、一括して報告。以下内容説明。

○それでは報告事項(1)評議員の変更につきまして御説明いたします。レジユメの2・3ページをお開きください。人事異動等による評議員の変更につきましては、5月11日に開催しました臨時評議員会において報告させていただいたところですが、豊後大野市において5月11日付で人事異動があり、評議員が異動となったことから、再度、変更について報告いたします。

○評議員の選任につきましては、定款第14条によりまして、評議員選定委員会において行うとございますので、評議員選定委員会を5月22日に開催し、変更が承認されました。新たな評議員につきましては、3ページ、地域スポーツ団体12番の小野哲也(おのてつや)豊後大野市体育協会事務局長でございます。

○以上、新たな評議員の選任について報告いたします。

- 次に報告事項（２）平成２９・３０年度代表理事・業務執行理事につきまして、御説明いたします。
- レジュメ４・５ページをお開きください。５月１１日に開催しました臨時評議員会で３０名の理事及び３名の監事を選任していただき、同日に開催いたしました第１回理事会におきまして、理事の中から代表理事の会長・副会長と業務執行理事の専務理事・常務理事を選定いたしました。４・５ページの名簿の読み上げをもちまして、報告に代えさせていただきます。
- 会長 広瀬勝貞（ひろせかつさだ）県知事
副会長 工藤利明（くどうとしあき）県教育長
同じく 麻生益直（あそうますなお）八鹿酒造株式会社代表取締役社長
同じく 上野浩光（うえのひろみつ）一企業スポーツ推進協議会会長
同じく 首藤奉文（しゅとうほうぶん）市長会代表
専務理事 井上倫明（いのうえみちあき）県教育庁体育保健課長
常務理事 安部省祐（あべせいゆう）県バスケットボール協会会長
同じく 安部 亮（あべりょう）大分合同新聞社運動部長
同じく 大場俊二（おおばしゅんじ）県サッカー協会副会長
同じく 櫻井康弘（さくらいやすひろ）県中学校体育連盟会長
同じく 詫摩英明（たくまひであき）県体操協会副会長
同じく 土谷忠昭（つちやただあき）県スポーツ推進委員協議会会長
同じく 永田佳也（ながたよしや）大分市体育協会理事長
同じく 牧和志（まきかずし）県スポーツ少年団指導者
同じく 松本悠輝（まつもとゆうき）松本内科循環器科クリニック院長
同じく 蓑田智通（みのだともみち）県高等学校体育連盟会長
以上、会長１名、副会長４名、専務理事１名、常務理事１０名が平成２９・３０年度の代表理事・業務執行理事に選定されましたことを御報告させていただきます。

- 続いて、報告事項（３）の各専門委員会委員について御説明いたします。レジュメ６ページから９ページをご覧ください。
- 本会には財務委員会、競技力向上委員会、スポーツ医科学委員会、スポーツ少年団の４つの専門委員会がございますが、その専門委員会の委員・役員も本年度が改選期となっております。それぞれの規程に則って、委員長のほか、委員を選任いたしました。
- まず、６ページは財務委員会委員でございます。
委員長に新日鐵住金株式会社大分製鐵所執行役員所長でございます上野浩光（うえのひろみつ）県体育協会副会長を選任いたしました。その他の委員の方々はこちらの通りでございます。
- 続いて、７ページは競技力向上委員会でございます。委員長は本会副会長の工藤利明（くどうとしあき）県教育委員会教育長でございます。その他の委員の方々はこちらの通りでございます。
- ８ページをお開きください。スポーツ医科学委員会でございます。委員長は麻生邦一（あそうくにいち）麻生整形外科クリニック院長でございます。その他の委員の方々はこちらの通りでございます。
- ９ページは大分県スポーツ少年団でございます。本部長には牧和志（まきかずし）県体育協会常務理事を、副本部長に加藤寛章（かとうひろあき）県教育庁体育保健課体育・スポーツ振興監、園田真治（そのだしんじ）県小学校体育研究会会長、竹内進（たけうちすすむ）県スポ少指導者協議会会長、永田佳也（ながたよしや）大分市企画部スポーツ振興課長、廣畑功（ひろはたいさお）中津市教育委員会教育長、の５名の方々を選任いたしました。その他の委員の方々はこちらの通りでございます。
- 以上が各専門委員会の委員長をはじめとする委員についての報告でございます。
- 報告事項の説明につきましては、以上でございます。

（渡辺議長が、質問等の有無を議場に諮ったが、特になかった。）

5 議事

【議案1 平成28年度事業報告及び決算について】

佐保事務局長が上記について説明した。以下内容説明。

- それでは、議案1の平成28年度事業報告につきまして御説明いたします。レジュメの10ページをご覧ください。報告につきましては、内容が多いため抜粋して報告させていただきます。
- まず、10ページの上段、理事会・評議員会でございます。28年度は、定款等に定められていまず評議員選定委員会、役員等推薦委員会、臨時評議員会、定例の理事会、定時評議員会等を資料記載の日程により開催し、本会の役員の変更や運営に関わる事項を御審議いただきました。
- 11ページから12ページ上段にかけては、九州ブロック大会及び国民体育大会関係でございます。第36回九州ブロック大会夏季大会、秋季大会は宮崎県を主会場に開催されました。本県選手団は夏季・秋季大会に31競技89種別に出場し、57の代表権を獲得いたしました。
- 第71回国民体育大会本大会は岩手県で開催され、大会には、監督選手427名が出場いたしました。結果は天皇杯順位第38位で、目標を大きく下回る結果となりました。11ページ下ですが、第71回国民体育大会反省会・工秀秀明スポーツ奨励賞授与式・懇談会を開催いたしまして、チーム大分の一層の結束を図るとともに、第72回国民体育大会での奮起を誓い合いました。
- 12ページ中段からは、専門委員会であります競技向上委員会関係でございます。強化指定委嘱状交付式、激励訪問、競技力向上委員会の開催に取り組みました。
- 13ページから15ページ上段は、スポーツ医科学委員会関係でございます。スポーツ医科学を通じた競技力の向上に向けて、各種事業に取り組みました。また、平成28年度は、より効果的なスポーツ医科学の活用に向けて、組織のあり方について審議を行ったところです。
- 15ページ中段から18ページ上段にかけては、スポーツ少年団関係でございます。資料記載のとおり大変多くの諸会議、研修会、大会等を実施いたしました。登録者数については、本県は全国で唯一、2年連続で前年度を上回りました。17ページ上段105にある第25回大分県スポーツ少年団駅伝交流大会は、本県独自で開催している事業であり、昨年度は混成の部を新設した結果、参加団も増加いたしました。このような魅力ある事業をさらに充実させながら、関係機関と連携して今後のスポーツ少年団活動の活性化に繋がる取組を続けたいと考えております。
- 18ページ上段119にあるその他本会主催会議の中の、加盟競技団体ガバナンス研修会ですが、この研修会は一昨年度から開始した研修会でございます。加盟競技団体指導者77名出席のもと、日本スポーツ仲裁機構から講師を招き開催いたしました。競技団体において、社会から信頼される組織運営は、スポーツ振興を図る上での最重要課題でございます。本年度は受講対象者を替えるなど、内容を検討しながら継続して開催したいと考えています。
- 18ページ下段から19ページ上段にかけては、表彰関係事業でございます。御覧のとおり平成28年度も多く団体、個人を表彰することができました。
- 19ページ中段は、募金関係事業でございます。役員の方々をはじめ、県民の皆様や企業など、各方面から御協力をいただき、法人会員としまして83件、236万円、個人会員としまして、153件、141万5千円、合計、236件、377万5千円の賛助会費をいただきました。これは、前年度を15万5千円上回る金額でございました。
- 次に、平成28年度収支決算につきまして、御説明いたします。21ページから34ページが決算資料でございますが、かなりの量になりますので、20ページの後ろに挟んでおります白紙でA3縦の資料により提案させていただきたいと思っております。
- 説明の前に、本会の会計は大分県スポーツ振興事業、大分県スポーツ少年団事業、大分県スポーツ普及・表彰事業の3つからなる公益法人会計と、事務局運営に係る法人会計の合計4つに分かれていますことを申し上げます。
- 表の見方ですが、ローマ数字Ⅰの一般正味財産増減の上段が事業活動収入、いわゆる収入の部です。これらの収入を各会計に振り分けています。振り分けの詳細は各事業ごとの正味財産増減計算書に記載してございます。下段の事業活動支出が支出の部、収支の差額が3の事業活動収支差額となっています。なお、一番下のローマ数字Ⅱの正味財産期末残高は、本会の財産残高を示しています。また、一番右の数字は行数を表しています。

- それでは、予算額と決算額の増減が大きいものなど、主な項目について説明いたします。
- まず、事業活動収入です。5行目の賛助会員会費ですが、決算額は377万5千円で予算額との差異は27万5千円でした。これは賛助会員の増加によるものでございます。6行目のスポーツ少年団登録料ですが、決算額は826万円で予算額との差異は17万円でした。これは、事業報告で説明いたしました登録数の増加によるものです。
- 15行目、国民体育大会参加費ですが、決算額は1億1千836万5千142円で予算額との差異は351万29円でした。これは、九州ブロック大会や国体への選手参加費を多めに予算計上したことによるものでございます。
- 19行目、指導員養成講習会費ですが、決算額は105万3千484円で予算額との差異は63万4千484円でした。これは、委託による養成講習会数の増によるものです。
- 45行目、スポーツ振興協力金ですが、決算額は656万1千987円で予算額との差異は16万5千513円でした。これは、ゴルフ場利用者からいただいているスポーツ振興協力金の拠出割合の変更によるものでございます。
- 48行目、指定正味財産からの振替額ですが、決算額は33万3千174円で予算額との差異は39万6千826円でした。これは、工藤秀明奨励賞の表彰者が少なかったことによるものです。
- 事業活動収入合計は、決算額は2億7千199万1千400円となり、予算額との差異は328万6千288円の減収でした。

- 次に、事業活動支出でございますが、公益法人会計の大分県スポーツ振興事業、大分県スポーツ少年団事業、大分県スポーツ普及・表彰事業と、法人会計を線で区分しています。
- まず、55行目の大分県スポーツ振興事業です。57行目、選手強化補助とある項目ですが、これは県から補助金としていただいている「スポーツ大分パワーアップ事業」の事業費で、決算額は予算額と同額の1億1千万円でございます。内訳は、特に58行目の拠点強化対策費、60行目のスポーツ医科学サポート対策費において、予算額を上回る決算額でした。これは、第71回国民体育大会に向けた重点的な強化によるものでございます。
- 63行目、国民体育大会参加費ですが、先ほど説明した事業活動収入と同じ理由によるもので、金額も事業活動収入と同額となっております。
- 74行目、日本体育協会委託金ですが、これも先ほど説明した事業活動収入と同じ理由によるものです。
- 79行目、※印の上記3事業の事業管理費ですが、3事業それぞれに割り振っているものをまとめて示しているものでございます。決算額は2千191万5千362円で予算額との差異は77万9千726円でした。これは、諸経費の節減によるものでございます。
- 83行目、事業活動支出合計の決算額は2億7千252万7千368円となり、予算額との差異は408万1千137円でした。
- 84行目の3事業活動収支差額は、各事業ごとの収支差額を示しています。スポーツ振興事業の収支差額決算は195万9千308円の赤字、スポーツ少年団事業の収支差額決算は100万7千191円の黒字、スポーツ普及・表彰事業の収支差額決算は23万7千852円の黒字、法人会計の収支差額決算は17万8千297円の黒字、したがって、89行目、一般正味財産増減における収支差額決算は、53万5千968円の赤字でございます。
- 91行目、ローマ数字Ⅱの正味財産期末残高決算額は3千474万9千337円でございます。
- 最後に、レジユメの35ページをお開きください。監査報告書でございます。監査報告につきましては11日の第1回理事会におきまして、こちらに記載の通り監事から報告を受けておりますことをご報告いたします。
- 以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

(渡辺議長が、議案1についての質問を議場に諮ったが、特になかった。)

〈上記の説明を踏まえ、渡辺議長が議案1を議場へ諮ったところ全会一致で承認された〉

【議案2 役員等推薦委員会の選任について】

佐保事務局長が上記について説明した。以下内容説明。

- それでは、役員等推薦委員会委員の選任について御説明いたします。レジュメ37・38ページをご覧ください。これは、本会の役員等推薦委員会規則でございますが、その第3条に「推薦委員会は、会長を除く、副会長1名、専務理事1名、常務理事1名、監事1名、評議員5名の合計9名により構成する。」とあります。
- また、第4項には、「推薦委員会の専務理事を除く他の委員は評議員会において選任する」とあります。36ページをご覧ください。本年度は役員の改選期ですので、井上倫明（いのうえみちあき）専務理事を除く、副会長から委員長を、常務理事、監事から委員を選任する必要があります。御審議の程、よろしく申し上げます。

（渡辺議長が議場に諮ったところ、事務局一任との声が挙がった）

○ありがとうございます。では、事務局の案を提示させていただきます。

○ただいま配付させていただきましたものが事務局の案でございます。該当箇所のみ読ませてください、提案とさせていただきます。副会長区分の委員長には、工藤利明（くどうとしあき）大分県教育委員会教育長を、常務理事区分の委員には、土谷忠昭（つちやただあき）大分県スポーツ推進委員協議会会長を、監事区分の委員には矢部正秋（やべまさあき）税理士を提案いたします。

なお、評議員5名の任期は4年でありますことから、原則変更の必要はございませんが、地域スポーツ団体区分の大分市体育協会において、4月の人事異動により嘉名竜馬（かなりょうま）評議員に変更となっておりますので、併せて御提案させていただきます。御審議の程、よろしく申し上げます。

（渡辺議長が、議案2についての質問を議場に諮ったが、特になかった）

〈上記の説明を踏まえ、渡辺議長が議案2を議場へ諮ったところ全会一致で承認された〉

6 その他

(1) 平成29年度第65回大分県高等学校総合体育大会日程・会場について

佐保事務局長が上記について説明した。

○その他の(1)平成29年度第65回大分県高等学校総合体育大会日程・会場についてですが、本日は、大分県高等学校体育連盟の安部理事長がお見えですので、安部理事長から御説明いただきたいと思います。それでは、安部理事長お願いいたします。

安部新悟理事長が上記について説明した。以下内容説明。

おはようございます。高体連の安部でございます。レジュメの39ページをご覧ください。そちらで平成29年度第65回大分県高等学校総合体育大会の日程、会場について一覧で記載させていただいております。ちょうど1週間後になりますが、6月2日に10時30分より総合開会式を大分市宮陸上競技場で開催いたします。主日程は6月3日の土曜日から5日の月曜日ということで開催をいたします。先行開催といたしましては陸上競技、バスケットボール、サッカー、ラグビーフットボール、クライミング、テニス、自転車の7競技を先行開催として実施いたします。

開催の競技会場といたしましては12市3町で、記載しております35競技を開催する予定としております。こちらには記載しておりませんが本県の59校、7661名の参加と言うことで昨年より200名参加が増えたと言うことで、非常に喜ばしいことだと感じております。

表の右端には、九州大会、全国大会の代表権を記載しております。競技によりましては全国大会、インターハイへの出場権獲得ができる競技と、九州大会でその代表権が決まる競技というものが分かれているということをご覧ください。

各競技団体におかれましては、競技の開催等についてご協力、ご尽力いただいております事、また各市町村におかれましては、開催の競技会場等についてご協力いただいております事を感謝申し上げます。以上になります。

(渡辺議長よりあいさつをいただいた)

7 閉会のことば

伊藤総務部長が閉会のあいさつを述べた。

議長

渡辺 真由美